

令和6年度  
教育課程特例校における特別の教育課程  
【実施状況報告】

池田市立 五月丘小学校

1. 概要

池田市では平成16年3月に構造改革特別区域計画の認定を受け、「教育のまち池田」特区に取り組んできました。市立小学校全学年に「英語活動」を教科として導入（全学年年間35時間）し、平成18年度より全小学校で実施してきました。

平成20年7月より「構造改革特別区域研究開発学校」規制の特例措置が全国展開されたことにより、本市の特例認定は取り消され、文部科学省の「教育課程特例校」指定に移行し、これまでの特区内容の教育課程を継続実施しています。

平成25年度に「教育課程特例校」の実施期間の終了を迎えましたが、平成26年度以降も継続を申請し、1～4年生における「英語活動」の授業を実施しました。

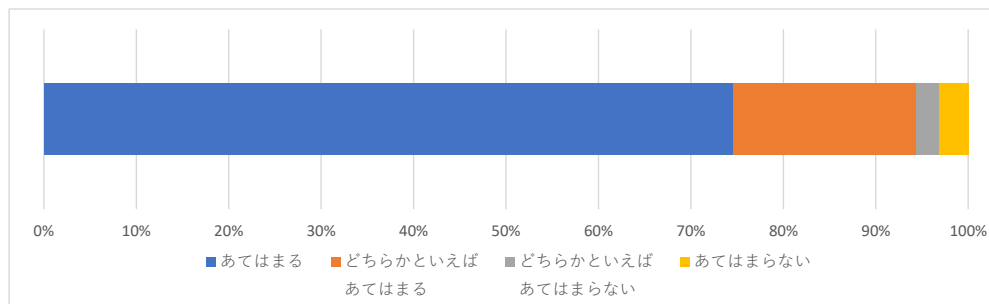
新学習指導要領への移行に伴い、「英語活動」は引き続き1・2年生で実施し、幼稚園、小・中・義務教育学校での継続的な英語学習をすすめています。

この1・2年生の「英語活動」は生活科の時間を活用して年間15時間実施しています。内容としては主に英語のリズムや音に慣れ親しむ活動を重点にし、挨拶や動作、身の回りのものを表す単語を題材にした活動を取り入れています。早期の段階から英語に触れることで、ことばや文化に対する関心を高め、正しく理解し、国際社会で生きる力を育成することをねらいとしています。中学年からの外国語活動、高学年からの外国語科への学びの連続性を意識して指導にあたっています。

2. 児童アンケートの結果

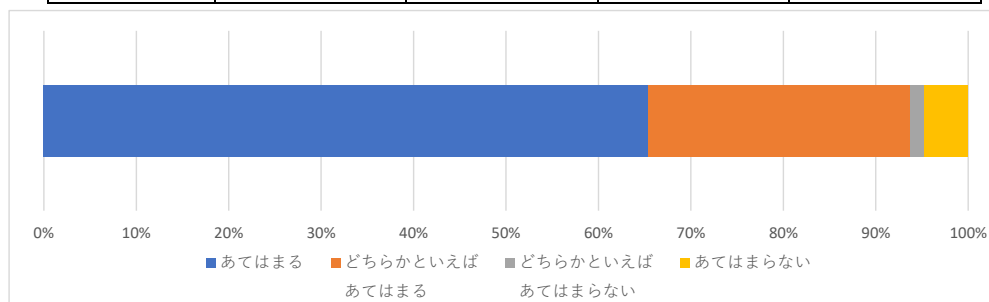
① 英語の勉強は好きだ。

	あてはまる	どちらかといえば あてはまる	どちらかといえば あてはまらない	あてはまらない
1年生	43	7	2	2
2年生	51	18	1	2
合計	94	25	3	4



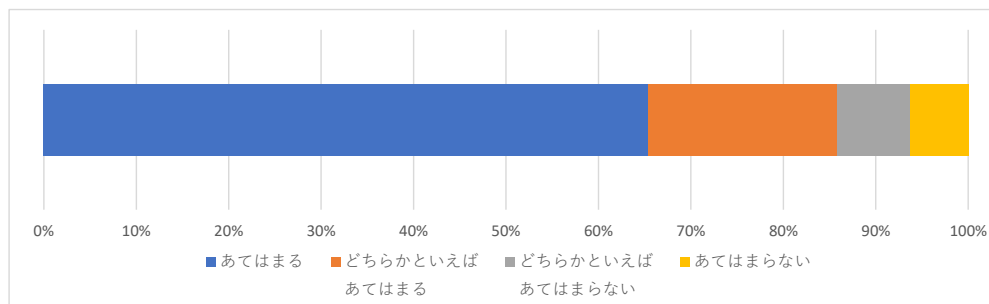
② 英語の授業はよくわかる。

	あてはまる	どちらかといえば あてはまる	どちらかといえば あてはまらない	あてはまらない
1年生	42	9	0	4
2年生	41	27	2	2
合計	83	36	2	6



③ 外国の人と英語を使って話せるようになりたい。

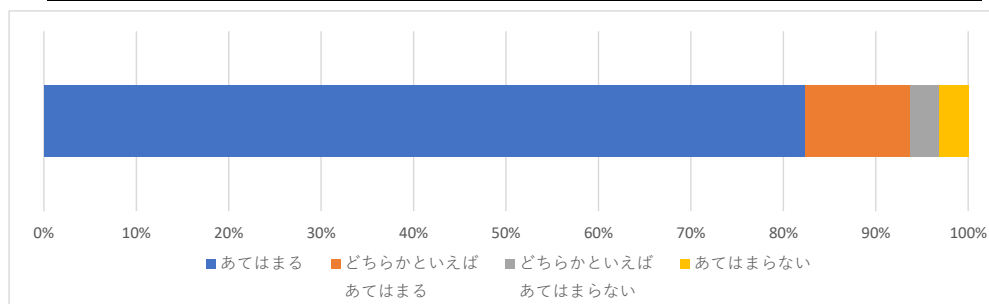
	あてはまる	どちらかといえば あてはまる	どちらかといえば あてはまらない	あてはまらない
1年生	39	7	4	5
2年生	44	19	6	3
合計	83	26	10	8



### 3. 保護者アンケートの結果

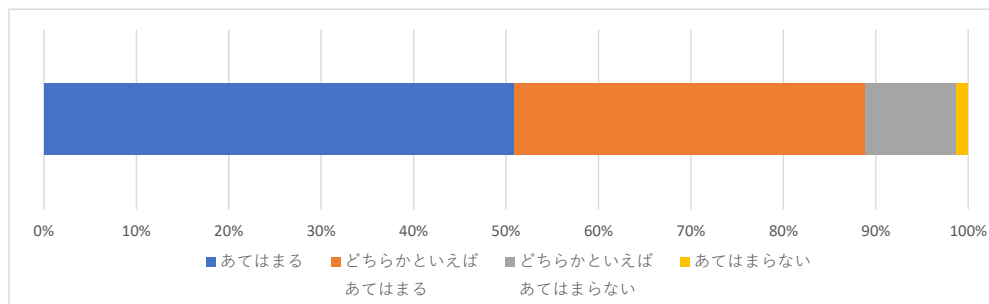
① 英語の授業を通して、お子様の英語学習に対する態度や英語を運用する知識・技能の向上を感じましたか。

	あてはまる	どちらかといえば あてはまる	どちらかといえば あてはまらない	あてはまらない
合計	131	18	5	5



② 英語の授業のことを家庭で話題にしますか

	あてはまる	どちらかといえば あてはまる	どちらかといえば あてはまらない	あてはまらない
合計	82	61	16	2



#### 4. 学校関係者からの意見

いずれのアンケートの質問についても、肯定的な回答が多いが、今後も児童が英語活動について意欲的に取り組めるような授業を展開していきたく考える。

現在、池田市では1年生・2年生でそれぞれ15時間の英語活動を実施しているが、このことは公教育での英語の入門期における学習としてとても有意義だと感じている。1・2年生の児童は、あまり理屈は気にせずに感覚的にALTの英語を吸収しているように感じる。1年間が終わるころには、話し方がALTに似ていて驚くようなこともある。楽しいゲームや歌を通して聞いたり話したりする活動は3・4年生の外国語活動のスタートにとっても良い影響を与えていると思う。例えば15時間でも、1・2年生の英語活動は、池田市の英語教育として今後も継続していただきたいと考える。

#### 5. 今後に向けて

今後については、低学年より英語活動を通じて英語に触れあう機会を多く作ることで、高学年になっても英語に対して苦手意識を持たず、意欲的に取り組めるような活動を充実させていきたい。そのためには、ALTとの連携を大切に、本校の児童に即した英語活動の充実に努めたい。